

# 今だからこそ予防できる“がん”があります



## どのくらいの方が子宮頸がんになるの？

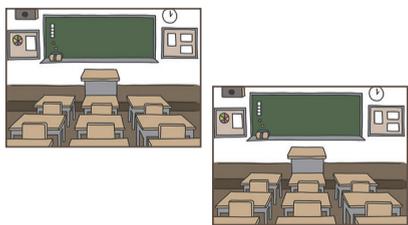
- 日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、毎年、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。
- 患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。

出典：国立がん研究センター がん情報サービス  
2019年全国推計値に基づく累積罹患リスク、2021年累積死亡リスク、2021年人口動態統計が死亡データより

### 【一生のうち子宮頸がんになる人】 【子宮頸がんによって亡くなる人】

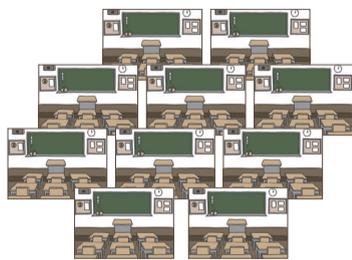
1万人あたり132人

2クラスに1人くらい



1万人あたり34人

10クラスに1人くらい



(1クラス約35人の“女子クラス”として換算)

## 子宮頸がんを苦しまないためにできることは？

ポイント  
**1** HPVワクチンでHPVの感染を予防



ポイント  
**2** 子宮頸がん検診でがんを早く見つけて治療

ワクチンを接種していても、していなくても、20歳になったら定期的に、必ず子宮頸がん検診を受けてください。

## 公費でHPVワクチンを接種できる対象者は？

- 小学校6年～高校1年相当の女性
- 高校2年相当～1997年度生まれの女性

誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日の女性で、まだHPVワクチンの接種を受けていない方も、2025年3月末まで、公費で接種できます。

詳しい情報はこちらをご覧ください。▶



HPVワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は厚生労働省のホームページをご覧ください。



厚生労働省 HPV

HPVワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、こちらをご確認ください。



ひと、くらし、みらいのために  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# ～子宮頸がんの予防のために今できること～

## 1 HPVワクチン接種

### 1 接種対象者

- 平成9年度～平成19年度生まれの女性
- 小学校6年生～高校1年生相当の女性

### 2 接種費用

平成9年度生まれ～高校1年生相当の女性は、  
**令和7（2025）年3月31日まで無料**

☆小学校6年生～中学3年生相当の方は、高校1年生相当年度末まで無料です。

☆公費補助がない場合の接種費用は、9価では3回接種で約10万円です。

### 3 接種回数

#### 3回接種

※9価ワクチンで15歳未満で接種を開始した場合は2回接種。  
※接種スケジュールはワクチンや接種開始年齢によって異なります。  
詳しくは、二次元コードよりご確認ください。

☆既定の接種（3回）が完了するまで約6か月間かかります。

平成9年度生まれ～高校1年生相当の方で接種を希望される方は、  
令和7年3月31日までに3回目の接種が完了するよう、令和6年9月  
までには1回目を済ませてください。

### 4 接種に必要なもの

**母子健康手帳、予診票**（住民票のある自治体で発行されたもの）

※予診票がお手元がない場合は、住民票のある自治体にお問合せください。



松本市の接種  
情報はこちら

H9～H19の方↓



小6～高1の方↓



【予診票の発行】  
松本市外・県外での接種  
については、  
ここからチェック☆



## 2 子宮頸がん検診

子宮頸がんの発症はヒトパピローマウイルスの感染が原因と考えられ、『20代』から  
増えはじめます。

**子宮頸がんからあなたを守るには…**

『HPV ワクチン接種』とあわせて、『1年に1回子宮がん検診を受診』  
することが大切です。

Q. 何歳から検診を受けることができるの？

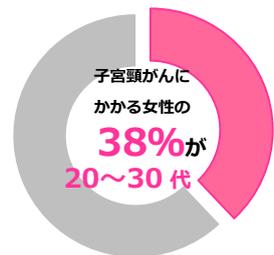
20歳から。

Q. どんな検査なの？

ブラシで子宮頸部の細胞を採取し調べます。

Q. 松本市の検診料金はどのくらい？

自己負担**800円**で受診できます。



所要時間は  
**約5分**

松本市の子宮がん検診  
についてはこちら ↓



21歳の方には、子宮頸がん  
検診無料クーポンが届きます



【お問い合わせ】

松本市保健所健康づくり課 TEL:0263-34-3217 FAX:0263-39-2523

※松本市民でない方は、住民票のある自治体へお問い合わせください。